

身近にある
学習の場

人権教育小集団学習グループ

どんなことをしているの? who? what? how?

「人権教育小集団学習グループ」って、固くて難しそうな名前ですね。でも、難しいお勉強をしているのではありません。グループの代表と、その中で選出された「オピニオンリーダー」が中心となり、子育てや家庭での出来事、日々社会で起こっていること等、身近な人権について一緒に考えていきます。学習方法もさまざまで、どんな講師を招いて学びたいか、どんな DVD が見たいか、どんなテーマで話し合いたい自分たちで決めています。肩の荷が降ろせるような話が聞けたり、みんなありのままでいいんだとほっとしたりするひとときです。

いつ? when?

5 月のオピニオンリーダー委嘱式から始まります。およそ、1 か月に 1 回活動します。幼稚園や学校関係は 8 月はしないこともあるので、だいたい一年間で 10 回ぐらいの学習活動になります。

どこで? where?

幼稚園や学校の PTA のグループは園・学校の部屋を借りています。また、有料ですが、地域学習館や公民館の部屋を借りているグループもあります。その他、人権問題がテーマの映画の鑑賞・裁判の傍聴・人権博物館見学・高齢者疑似体験等、いろいろな場所で学習しています。

尼同教とのつながり connection

尼同教の役員や個人会員の何名かが、「人権啓発推進リーダー」として活躍されています。人権教育小集団学習グループのところに出席して一緒に話をしたり、気づいたことを共に考えたりしています。

ほかにも others

幼稚園や学校の PTA の活動ではなく、自主的に活動しているグループもあります。人権教育小集団学習グループとして尼崎市に登録すると委託料がでますので、尼同教の団体会員、個人会員の方はもちろん、あまり学習する機会がないなあという方は、何人かで学習グループを作ってみませんか?

詳しくは尼崎市のホームページをご覧ください。

くらしの情報 はたらく・人権・男女共同参画
人権 人権教育小集団学習事業

QR コードをご利用の方はこちら



温かい地域の
まなざし

尼崎市少年補導委員連絡協議会の活動

はばたんがプリントされたピンクベストを着用した方々。現在市内に 370 名、市長からの委嘱を受けて活動されている尼崎市少年補導委員連絡協議会の皆さんを見かけたことのある方も多いと思います。

「市内の一斉補導や祭礼時の巡回だけでなく、白ポスト内の有害図書の回収や近隣のコンビニ等に未成年が購入してはならない物が適切に設置されているかどうかの調査も行っています。」と活動内容を話し始めてくださったのは、本年度会長に就任された播口さんです。



補導委員の活動の一環として、人権講演会に参加することで、何気ない毎日に人権問題が潜んでいることを感じられるようになったそうです。

そうした中から、播口会長が日々心がけていることは、髪の色や服装などから受けてしまいがちな先入観に自身が囚われないようにすること。一人ひとり、根は素直な子どもたちに「今しているこの行動はいけないことだし、周りから悪く見られてしまうんだよ。」と伝えていける活動を展開していければ、とも語ってくれました。

また、市内の諸団体から協力を得て行っている合同パトロールを例に挙げ「皆が自分の家の前など、身近な場所を見守っていくことを意識することで、地域の目が増え、子どもたちを守っていける環境が整っていくと信じています。」と、多くの人が細く長く続けていける活動にも目を向けられていました。

播口会長が活動を始めたきっかけは、自治会からのお願いで委員を引受けたことだったそうですが、今では、義務感からだけでは決して生まれてこない温かい想いと笑顔で、市内の児童・生徒の健やかな成長を見守ってくださっています。



LGBT
それって
ほんま?

脱常識の、性的マイノリティ

6月23日(木)中央公民館において、約150名の参加のもと人権・同和教育推進大会が開催され、仲間しゅんさんを講師に迎え、「脱常識の、性的マイノリティ～ジェンダーと人権の視点から共に考える～」をテーマに、研修講演会が行われました。

仲間さんは戸籍上は男性ですが、容姿は宝塚歌劇のトップに見紛うばかりの女性弁護士。最近マスコミに取り上げられる機会も多くなったLGBTですが、その「性の多様性」を生き方として尊重できる世の中の実現を目指し、弁護士として、また講師として活動されています。

講演では、人の心に巣食う常識をいくつか挙げ、「それってほんま?」と疑ってかかることを手始めに「性」に関する用語解説、ご自身が男性として生まれ、女性へトランス(生物学的性から自己意識に一致する性への転換)された経緯など、ユーモアを交えながらお話しされました。

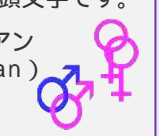
また、弁護士になる前に学童保育指導員として勤務していた児童ホームで、退職する際にされた実践を紹介してくださいました。色紙を使って子どもたちに性に対する固定観念を自覚させ、そこから気づきを引き出すという学習の実演は、会場の人たちとのやり取りもあり、とてもわかりやすいものでした。

“単に「みんなちがってみんないい」と言うだけでなく、なぜその人のあり方が阻害されているのか、その原因を考えたい”という締めくくりの言葉は、人権課題の解消に向けて地道な努力を続ける尼同教の姿勢とも重なり、力強いエールとなりました。

<社会教育部>

「LGBT」って?
セクシュアルマイノリティの中で、代表的なもの挙げた頭文字です。

- L レズビアン (lesbian)
- G ゲイ (gay)
- B バイセクシュアル (bisexual)
- T トランスジェンダー (transgender)



講演の内容は年度未発行の「尼同教この1年」に掲載予定です